

村議 会

1月臨時会 平成31年 第1回

丹波山 議会だより

平成31年 1月臨時会 ……1~2ページ
平成31年 3月定例会 ……2~10ページ
一般質問 ……10~12ページ



編集の都合で未掲載だった平成31年1月臨時会、3月定例会の内容をまとめた増補版です。No.7と合わせて、お読みください。

■平成30年度丹波山村一般会計補正予算第6回について

平成30年度丹波山村一般会計補正予算第6回は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれに2,850万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ15億6,128万1千円とするものです。

質疑応答

守屋保志 地域振興費が2,020万円の増額と地方創生交付金委託料1,000万円の説明を求めます。
総務課長 地方創生交付金事業を3件行っています。観光関係の丹波山の四季のプログラムづくり。これは2年目を迎えて、冬のキャンプ等々と観光事業の発信、軽食堂のメニューの開発とかを幅広く手がけています。狩猟の村丹波山移住推進事業という、狩猟から移住へつなげるという事業を今年度やっています。

村民の健康増進と定期来村者育成のためのヘルスケア推進計画も今年から行っております。この合計が、国から交付決定があったから金額が4,510万円となっております。交付決定等の関係で今回補正しました。
守屋保志 KPI、PDCAサイクルの検証結果の説明を求めます。
総務課長 四季のプログラムは観光入込客数をふやすというところで、1年が終わり29年の検証も済んでいるが、温泉改修の為3カ月間休業期間で、実施には減っている状況です。あとの2つは現在1年目を実施中なので検証中です。

守屋保志 検証した結果、下回っている場合改善が必要だが、何を

をする予定か伺います。
総務課長 3年目の計画で実施していきます。まず軽食堂のメニューを変え、今現在は売上が1.5倍ぐらいの収入が見込まれていきます。結果はだんだん出てくると思います。

守屋保志 29年度の国庫補助金と30年度の補助金の額の差を伺います。
総務課長 総務費国庫補助金は29年度1,800万円、30年度4,500万円です。29年度が地方創生交付金事業の今プログラムづくりが1つで、30年度は3つの事業を実施しているためです。

株式会社設立へ

守屋保志 株式会社設立資本金として、1,000万円の計上があり、1,000万円の計上
副村長 温泉等の臨時で働いている方の給料・賞与を役員一般職員にする会計年度任用職員制度施行が来年4月に迫り、大きな問題になっています。臨時職員が一番多いところは、のめこい湯等の観光事業なので小菅や道志村のように会社を設立して、そこを受け皿にして民間の考え方を導入した会社を設立しようというところで、この両方を解決するために、この資本金1,000万円を計上しました。

守屋保志 当初予算ではだめなのか。
副村長 実は、来年度の予算は平成32年の4月から施行になりますので、その以前に指定管理者に移行するという考えを持ってた場合、4月に会社を設立して設立の準備恐らく1、2カ月かかります。指定管理者について、議会に承認をいただけて移行す

るとなると、年度が押してきますので、出来ればこの年度中に会社を設立して、4月以降、道の駅の指定管理者制度への移行の手続に入りたいと考え予算を計上させていただきました。
守屋保志 村が全額を出資し、法人の設立を行い、道の駅、温泉施設などの運営を任せるといふことだと思ふが現状の温泉施設の運営は、赤字で非常に難しい会社経営、運営になるが、どのような方にこの設立した会社を任せると考えなのか伺います。
副村長 現在私が温泉については総支配人を命じられておりますので、設立までは、私が中心に準備を進めていきます。
守屋保志 社長を支え、ともに会社運営に携わる優秀な人物が必要不可欠であると思いが、社長を含めた今後の人材募集について伺います。
副村長 まだ人選はこれからで

一般会計補正予算の内訳

主な歳入 (単位：千円)

| 区分 | 補正額 | 主な内容 |
|-------|--------|--------------|
| 国庫支出金 | 4,500 | 総務費補助金 4,500 |
| 繰越金 | 24,004 | 24,004 |
| 計 | 28,504 | |

主な歳出 (単位：千円)

| 区分 | 補正額 | 主な内容 |
|-----|--------|---|
| 総務費 | 21,497 | 有テレ線出し金 297 自家修繕等 1,000 地域創生費 20,000 街路灯電気 200 |
| 商工費 | 6,193 | 温泉繰出金 6,193 |
| 教育費 | 814 | ほっとサポート報酬 14 給食食材 800 |
| 計 | 28,504 | |

すので、村の有識者なり外部の有識者というのは、これから選任をしていきます。
守屋保志 社員の処遇はどのような方向にあるのかお聞かせください。
副村長 現状維持ですが、頑張った者は報われるような処遇を検討していきます。

■平成30年度丹波山村有線テレビ放送施設事業特別会計補正予算

平成30年度丹波山村有線テレビ放送施設事業特別会計補正予算第2回は歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ40万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,057万9千円とするものです。
主な内容は、編集装置が壊れたため新たな編集装置を購入するための補正です。
質疑、討論はありません。

直売所リニューアル

■平成30年度丹波山村温泉事業特別会計補正予算

平成30年度丹波山村温泉事業特別会計補正予算第5回は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ620万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億3,969万4千円とします。

主な内容は従業員賃金と燃料費、直売所のリニューアル費用が補正の主なものです。

質疑応答

酒井隆幸 直売所リニューアルの内容について伺います。

副村長 地方創生交付金を使いまして、中小企業診断士を入れて、その結論を踏まえた上でリニューアルする考えです。

酒井隆幸 直売所のコンセプト

が決まっているなら、教えていただきたい。
副村長 コンセプトは、ここです上がってくる中小企業診断士からの診断内容を踏まえて計画してまいります。

酒井隆幸 村の産品をまとめたのコーナーとか、東京からの玄関口ということで、山梨県の産品をもっともつと村の直売所に入れると利用者の方も喜んでくれるんじゃないかなと思いますので、積極的に行っていたらと思います。

副村長 特徴づけるには、私どもの村でとれたシカの皮をつかった印伝だとか、そういうもの駅、あそこに行けばこんなものが買えるという直売所を目指したいと考えています。
守屋保志 従業員賃金270万円の詳細な説明を求めます。

通財産へ変更し有効活用を図るための条例です。

質疑応答

守屋保志 具体的な賃貸の交渉はあるか。

次長 現在のところは、特に利用の予定はありません。
守屋保志 公募とか、PR等行うか。

副村長 サテライトオフィスとかギャラリー、インキュベーション施設、起業するための施設としては非常にPRしやすい建物で、そういう方に貸し出せる一つの物件として紹介できます。

酒井隆幸 企業とかにサテライトオフィスで貸し出す際に、パソコン、ネット環境が必要となってくるが、その整備は村がしてから貸し出す予定ですか。

副村長 道の駅、のめこい湯には、地域おこし隊員が昨年まで一人配属されていましたが、総務費から賃金を支払っていました。その協力隊員が昨年3月で辞めたため、その一部、1年分の経費が足りなくなりました。

薪ボイラーは計画どおりか

守屋保志 A重油100万円についてですけども、昨年12月の定例会で同じようなA重油の補正をし、まだ1カ月半しか経過していないこの臨時議会です。重油代を補正計上するのかわかりませんが、3月までの約100日間、不明を求めます。

副村長 薪ボイラーが非常に不安定な稼働をしておりまして、重油に頼らざるを得ない状況が続いております。予算の見積もりが甘いと云われればそれまでなんですが、

副村長 できれば村は余り金をかけたくない創業支援ということ、県とか国からの補助金が得られれば、その環境を整えて提供すること、これも考えられます。

温泉直売所を指定管理へ

■丹波山村温泉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

丹波山村温泉施設に指定管理者制度を導入するための条例です。

質疑応答

守屋保志 なにゆえの株式会社設立なのか、説明してください。
副村長 来年の32年4月から施行される地方公務員法と地方自治法の改正があります。これによ

不安定な状況で重油を使い追い炊しなればならない状況が続いておりますので、ここで計上しました。
守屋保志 当初予算の重油代の算出方法は、薪ボイラーとの併用運転による重油削減を考慮して算出したのか伺います。

副村長 当初薪ボイラーと重油とのバランスをとって、重油をなるべく少なくしていくのが理想でしたが、薪の熱源が非常に不安定で操作にも不慣れでしたが、ようやくここで安定的な供給が見込めるようになりました。

守屋保志 薪ボイラーの燃焼の問題点を解決すれば、当初の計画に年々近づけるものと確信している旨の答弁が12月の定例会でしたが何らかの問題があった、その問題がこの1カ月半という短時間で問題解決しないということでしょうか。

副村長 当初計画はあくまでも安定供給が安定的に薪ボイラー

が稼働した場合のことを想定していました。ここで安定的に統計がとれ計算が出来るようになったのはここ最近です。
村長 温泉のボイラーについていろいろなご意見を頂戴いたしました。私たちも村のためにさまざまな角度から検証していかなくてはならないというふうに思っております。

嶋崎義人 冬場、野菜等の出品が少なくなるわけですが、何かこれをふやす、例えばビニールハウス栽培を援助するようなお考えはございませんでしょうか。
副村長 ビニールハウスをつくる等、村の単独補助を検討していきます。

嶋崎義人 地元でとれたものの加工品の開発等行っていくのか伺います。
総務課長 アユを考えています。そのほかも地方創生に出来るようなものを幾つか考えています。

る明歩谷（ミヨブダニ）秀邦氏。

それから報酬ですが、役員報酬はまだ正式に決まっております。決まっているのは私が無報酬。ほかの役員の方は、会社が設立してから取締役会を開いて決めることになりました。準備会の中では、丹波山の財政状況を酌んでいただいて、安い金額でしかお示しできませんというところはあります。

職員の給料ですが道の駅、軽食堂、温泉は、かなりばらつきがあります。きちっと働いた分、それに見合った報酬制度を導入したいと考えています。
守屋保志 経営陣の経営理念を伺います。

副村長 経営理念については、民間活力の導入はもちろんのこ

村議会

3月定例会

平成31年 第1回

■丹波山村公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
所畑公民館を行政財産から普

らいましたが、無く起債が借りられる可能性はあるということ、今勉強中です。

■平成30年度丹波山村国民健康保険特別会計補正予算

平成30年度丹波山村国民健康保険特別会計補正予算(第3回)は、歳入歳出それぞれ75万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ1億2,051万6千円とするものです。

国民健康保険税や国庫支出金、県支出金など年度終了に基づく精査によるものです。

直診勘定は歳入歳出の総額に、歳入歳出それぞれ497万5千円を減額し、歳入歳出の総額を、歳入歳出それぞれ8,404万6千円とするものです。診療収入の精査と診療所の医薬材料費の減が主なものです。質疑・討論はありません。

■平成30年度丹波山村簡易水道事業特別会計補正予算

平成30年度丹波山村簡易水道事業特別会計補正予算(第3回)は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ6万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ1億2,226万4千円とするものです。翌年度に繰り越して使用する経費は、小峰山浄水場更新事業の5,780万円です。

歳入は小峰山浄水場改修事業に伴う生活基盤施設耐震化等補助金の減額と簡易水道事業債の減額に伴う一般会計繰入金増額です。歳出は水道施設の修繕費と、職員給与費の減額が主なものです。

質疑応答

守屋保志 水源本管修繕と最近

の節水をお願いについて内容を説明してください。

住民課長 2月に、マリコから小峰山浄水場までの管の本管が破裂をしました。その日のうちに仮復旧し1週間後に本工事を

行い現在は管のほうは大丈夫なんですが、マリコ沢の水が、雨や雪が少なかつたため少ない状態でした。ただ、ここ数日、雨が降りましたので、今現在は水が入ってこないというところはなく今現在は大丈夫ですが、また水が少なくなった段階で、皆様に節水の放送をさせていただきたいと思えます。よろしくお願います。

守屋保志 老朽化対策も踏まえて、村民が心配しないような対策を考えていますか。

住民課長 破裂箇所は設置から20年以上たつています。その周辺も同じ時期につくつていて、今後も弱いところは破裂すると思われまます。その辺は調査をさせていただいて、なるべく早目に対応したいと思えます。

守屋保志 水の取り入れ口の整備、改善とかもあわせて検討をさせていただきたいのですが。

住民課長 考えていきたいと思っております。

■平成30年度丹波山村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算

平成30年度丹波山村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2回)は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,500万円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ2億9,159千円とするものです。また、翌年度に繰り越して使用する経費は丹波山浄化センター建設工事委託で5,500万円です。

一般管理費の委託料を減額する補正です。質疑・討論はありません。

■平成30年度丹波山村介護保険特別会計補正予算

平成30年度丹波山村介護保険特別会計補正予算(第3回)は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ424万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ1億4,576万6千円とするものです。

歳入は、保険給付費の実績に基づく精査と介護給付費準備基金繰入金金の減額、繰越金の増額が主なもので、歳入は、保険給付費の減額と介護給付費準備基金への積み立て、介護給付費国庫負担金等の償還金などが主なものです。質疑・討論はありません。

■平成30年度丹波山村後期高齢者医療特別会計補正予算

平成30年度丹波山村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)は、歳入歳出の総額に、歳入歳出それぞれ119万9千円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ1,260万5千円とするものです。歳入は、後期高齢者医療保険料の減額と一般会計繰入金金の減額で、歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金の減額です。質疑・討論はありません。

■平成31年度丹波山村一般会計予算

平成31年度の丹波山村一般会計予算は、歳入歳出それぞれ15億3,568万9千円とするものです。

質疑応答 歳入

守屋保志 雲取駐車場の有料化

についてどのような検討がなされたのか伺います。

振興課長 有料化については、検討不足の段階となっております。

守屋保志 先延びをされまますと、この収入が入ってこないということになり

ますので、ぜひ早急な検討を望みます。

振興課長 現段階では、やるというはつきりしたお答えはできないが、実現に向けては検討します。

酒井隆幸 セツ石山使用料が減額されているが、使用料の推移を伺います。

振興課長 小屋屋に関する宿泊の推移は、29年度の泊まりが517人、テントが805人、30年度、1月までの実績ですが小屋のほうは529名、テントは777人、小屋のほうは3月末で若干多くなるのは明らかです。テントのほうもほぼ去年並みに泊まっていただけるものと思われまます。

酒井隆幸 セツ石側のルートと酒井隆幸、わがりずらいので鴨沢の登山口に推奨ルートとしてパンフレットなり看板なり立てれば、そちらへ誘導できるのでは、検討できないか伺います。

平成31年度(令和元年度) 各会計の予算 単位:千円

| 会計名 | | 予算総額 | 前年度 | 増減 | 増減率 |
|-----------|-----------------|-----------|-----------|---------|--------|
| 一般会計 | | 1,535,689 | 1,392,733 | 142,956 | 10.3% |
| 特別会計 | 国民健康保険会計 | 123,345 | 110,746 | 12,599 | 11.4% |
| | 直診勘定 | 86,506 | 88,814 | △2,308 | △2.6% |
| | 簡易水道事業会計 | 284,000 | 109,851 | 174,149 | 158.5% |
| | 教育奨励資金会計 | 1,804 | 1,205 | 599 | 49.7% |
| | 水源の里保健休養施設事業会計 | 26,262 | 25,622 | 640 | 2.5% |
| | 特定環境保全公共下水道事業会計 | 156,804 | 224,083 | △67,279 | △30.0% |
| | 有線テレビ放送施設事業会計 | 5,433 | 9,229 | △3,796 | △41.1% |
| | 介護保険会計 | 140,619 | 135,988 | 4,631 | 3.4% |
| | 温泉事業会計 | 251,347 | 219,469 | 31,878 | 14.5% |
| | 介護サービス会計 | 412 | 412 | 0 | 0% |
| 後期高齢者医療会計 | 12,187 | 13,204 | △1,017 | △7.7% | |

振興課長 実施に向け検討します。

守屋富重 農業補助金の鳥獣対策費の50万円をどのように使うのか伺います。

振興課長 国からの補助でシカを捕獲する罠を購入して、猟友会へお願いできないかと考えています。

守屋富重 電柵は、草を刈らなければ、獣は、電柵は電気が流れるので、年に2回ぐらい電柵の草刈りをしては使われないが、そういう費用には使われない

か伺います。

振興課長 電柵等の管理は、主に中山間直接支払事業を今使わせていただいております。去年も、1回か2回ですが、実施しました人数不足になるということはよくわかっております。来年度も、全ての人を集める、草刈りはもちろんですが、そのほかにも数回手がけていきたいと考えております。

質疑応答 総務費

守屋保志 第4次総合計画や総合戦略の見直しは組み込まれているのか伺います。

総務課長 地域創生費、委託料としまして、総合戦略の長期総合計画、観光計画というので、400万円計上しております。

守屋保志 400万円の内訳を伺います。

総務課長 内訳は、印刷代と、計画の基本の委託料になります。未来会議等いろいろな会議でつくり上げて、それをまとめて、冊子にしてみらうようなイメージでいます。基本的な内容は、未来会議ほか各種会議で考えていこうと考えています。

守屋保志 総合戦略も四次計画も、検討委員会を立ち上げてやられてきたものだと思うんですが、けれども、未来会議が主となって、検討委員会を開催していただいて、その答申とか、それを受けて反映させるということまで理解してよろしいですか。

副村長 総合計画の審議会は総合計画をまとめて村長に答申する。その土台をつくるのは、庁内にある総合戦略検討会議、未来会議です。ここでもまとめたものを審議会で審議していきます。

守屋保志 施政方針で出された表彰制度の創設について村長は

どのようなお考えなのか伺います。**村長** いろいろな活躍をされている、そういった方が、これからもっともっと活躍していただけるような、その人たちに励ましになるような、そういった意味合いを持っています。

酒井隆幸 企画費のふるさとカレンダー事業費についてですが、内容が、毎年、単純なもの、風景のようなものになってるので村を宣伝するツールの一つとして、村の売り出したもの、例えば1月お松引き、7月獅子舞は固定で、あとは売り出した8月は鮎、10月舞茸、食べ物写真とかも取り入れて、ふるさとカレンダーを作っていくほうが良いと思うかどうか。

教育長 全然カレンダーが変わらないと指摘され、審査員の方をかえまして、また選考委員会を立ち上げ、委員に山梨放送のアナウンサーの方、未来会議の副委員長の村山さん、議長にも入ってもらい実施しました。中学生にも小学生にも、iPadを持ち帰って撮ってもらいました。

ですので、だいぶ変わったと思います。議員からご指摘いただいたとおり、観光のツールとして、カレンダーは人気があるのでさらに来年のカレンダーは観光PRのツールとして考えていきたいと思っております。

酒井隆幸 遠目から鮎釣りの写真とかも撮っている写真が多いが、近くへ寄ると丹波の鮎はきれいなので、そういう写真もぜひ入れてほしい。

あと、応募コンクルールのチラシに関して、各月ごとに賞を出すとか、そういうことも検討すると、月ごとに応募件数もふえていくのかなと思っておりますので、検討してください。

守屋保志 総務費の委託料の顧問弁護士、95万4千円の詳細について伺います。

総務課長 役場顧問弁護士に月5万円プラス税で約60万円、残りの30万円が、何か突発的に起きている必要になることがある場合の費用です。

守屋保志 昨年の9月定例会で、弁護士費用の計上があったが、その後の動向を伺います。

副村長 退職した学校用務員の復職と給与、慰謝料の請求があり私どもでは、一切非がないと考え弁護士に相談しました。その後、相手の弁護士から電話がかかってきて裁判をしてくださいと回答しましたが、何の連絡もないまま今に至っています。

嶋崎義人 地域創生費は、村がアイデアを出して国が地域の活性化に資すると認めた企画に資金を出す制度か伺います。

総務課長 そのとおりです。**嶋崎義人** 申請したものが落ちることもあるのか伺います。

総務課長 落ちるほうが多いイメージです。

酒井隆幸 一般管理費の研修費ですが、役場職員の方の研修だと思えますが、その研修した内容等は、職員のほうで、共通の報告会を開いているか伺います。

総務課長 報告書はまとめてあります。役場内では共有していただきたいと考えています。

酒井隆幸 役場職員だけでなく村民の方にも、広報とかを使って報告をお願いします。**守屋保志** ふるさと納税の30年度納税額を伺います。**総務課長** 約600万円です。**守屋保志** 29年度と比較を伺います。**総務課長** 29年度が100万円ぐらいいので5倍から6倍の増です。

守屋保志 納税額が5倍も6倍も伸びた要因は何か把握されていますか。

総務課長 要因は北山村のやり方で伸びました。ただ、これは総務省から、今後は無理ですという回答が来そうです。また、ここで人件費を使い一人雇用しています。その者が一つの商品を出すのに3万から5万円かけて説明をつくるのですが、担当者がつくれるようになったので、新しいアイデアがすぐ載せられるようになったのが要因と考えています。

守屋保志 総務省の厳しい通達が考えられるが、今後納税額はどのくらい伸びると考えているか伺います。

総務課長 予算上は2,000万円を目標にします。ただ、6月に総務省の回答が出る報道なので、増やすのは難しいが、2,000万円に向けて一生懸命やっています。

村長の方針でサイダー等、特産品も考えています。そういうものを合わせることも、観光協会、商工会とも連携しながら2,000万円を目指していきたいと思っております。

守屋保志 目標額を達成するためには、納税者がすばらしい取り組みだと認め助けたいと思うような戦略を出してほしい。また現段階での戦略を伺います。

総務課長 戦略は、今後いろいろ考えていきたいと思っております。地方推進交付金等も利用して特産品の開発をおこないます。観光協会、商工会とも連携し例えば鮎を利用等考えています。また大きくPR方法、見直ししていきたいと考えています。

副村長 ことしの提案制度で優良賞になったふるさと納税の提案がありました。これは、村外

から通っている役場職員に丹波山村へふるさと納税をしようという提案でした。

DMO設立へ

酒井隆幸 地域創成費の村民タクシー委託料100万円はNPOのほうに村民タクシーの業務等を委託していたと思うが、この委託料というのとはどちらに委託するか詳しく伺います。

総務課長 30年度はNPO「小さな村」のほうへ村民タクシーを委託していました。1年間やってみましたが、それなりの成果は出ています。それで予算を減らすためにも、観光協会とは違う村観光のかじ取りをするような会社組織(DMO)をつくりそこで行う委託料です。

酒井隆幸 その会社の運営費というのはいくらで、100万円だけじゃなくても多分運営できないと思えますが、どのように考えているか伺います。

総務課長 四季のプログラムの中でも委託料として予算を国に申請しております。そのほかに、ふるさと納税の人員費もそちらへ回して、道の駅の案内所に事務所を置くことによって常駐が出来ます。そうすれば、観光協会と違った形の組織として村が委託できます。なるべく村の金を持ち出さないように考えています。

酒井隆幸 なるべく独立した形でその会社、DMO自体を運営していくようにしてください。

守屋保志 ただいまの質疑の関連ですがDMOを開設させるに当たって、取締役は誰になるか伺います。

総務課長 一般社団法人でつくって考えています。取締役等はまだ決めていません。

守屋保志 DMOという会社設立に資本金は必要なのか伺います。

総務課長 資本金はありません。株式会社をつくるような大がかりなことにはなりません。

守屋保志 会社設立には事業計画、会社登記、財務の監査役等が必要ですが、DMOについては、無いということではないのか伺います。

総務課長 基本的には一緒です。今回は株式会社をつくるのは時間がないので、できれば4月、5月にはスタート出来るようにと考えています。

守屋保志 4月、5月スタートとの答弁だが期間は大丈夫なのか伺います。

総務課長 今のところは大丈夫な見込みでやっております。

質疑応答 民生費 衛生費

酒井隆幸 介護収入が昨年度と比べて58万7千円減ということになっていますが、この減の理由を伺います。

住民生活課長 デイサービスを利用している方は変わっていません。要介護度が低い方が多く利用しているので減額計上しています。村民の方にとんどん利用していただきたいと思

酒井隆幸 一番いいのは、デイサービスに通わないことなので、どんどん通ってほしいというのとは多分ちよっとおかしな表現だと思えます。村としては元気なお年寄りがいたほうがいいのではないかなと思うんですけど、課長の見解を伺います。

住民生活課長 デイサービスを利用しないで本当に元気が村内で生活していただけるのが一番いいことです。なんですけど、今どうしても家のほうで閉じこ

り外へ出ないという方が増えていきます。また、デイサービスを飛び越えて施設のほうに入所してしまおうという方がいるので、ぜひ施設に行く前にデイサービスを利用していただきたい。

酒井隆幸 健康づくり実施事業費ですが、県の補助が受けられなかった場合は、やらないということなのか伺います。

住民生活課長 県に申請してはいますが、万が一補助金が入らなくても村長の施政方針に入っていますので実施します。

健康ポイントとは

酒井隆幸 健康ポイントは、どのように活用するか伺います。

住民生活課長 15ポイント集めたければ500円の商品券、この商品券は商工会も協力していただき、商工会に加盟している商店で使えます。

酒井隆幸 年間何回ぐらいポイントを貯める事業をやる予定か伺います。

住民生活課長 集団健診の基本健診で5ポイント、それにがん健診で1ポイント等、健診とか人間ドックだけでは15ポイントにならないので、健康ワークショップに1回出て1ポイント、食生活改善推進委員会、社会福祉協議会の生き生き健康クラブに参加で1ポイントなど考えています。

酒井隆幸 健康づくり推進事業の委託料に197万円が入っていますが、この委託料の内訳、内容を伺います。

住民生活課長 商工会のほうに健康ポイントの商品券が180人分、健康ポイントの印刷代、手数料として150円×180人分、ただこれは500円券を30人しか使わなかった場合はこ

の30人分を商工会に納めます。他に社会福祉協議会、歯科健診、食生活改善推進委員会、田舎の力に委託をさせていただいて、合計で192万7千円ということになっていきます。すべて実際に利用した数の委託料を支払う予定になっております。

嶋崎義人 健康ポイント商品券500円×180人、計算しますと9万円になります。周知用印刷代が2万円、ポイントカード印刷代が5万円、手数料が2万7千円、これを計算すると9万7千円で商品券より高いものになるが、理由を伺います。

住民生活課長 商品券、手数料については、利用者を180人分にしてはいますが、ポイントがついた段階でその人数分だけ支払いをする予定です。ただ、この印刷代5万円というのはそのまま委託をしますが、手数料についてはは利用者人数で支払います。

嶋崎義人 民間から考えると余り費用対効果がないがどうですか。

住民生活課長 印刷代等まだ安くできることを検討します。

質疑応答 農林水産業費

守屋保志 農業に関する村単独の助成制度の創設の具体的な施策を伺います。

振興課長 遊休農地を活用していただいで、マイタケ設備を設置する補助金です。

守屋保志 マイタケ以外のものについての施策を伺います。

振興課長 ソバに関しては考えておりません。ワザビについては従来どおり苗に対する補助があります。

守屋保志 高齢化が進んで畑が荒廃しているが、打開策として何か積極的な施策等議論は執行

部でなされていないのか伺います。

振興課長 丹波山村産のジャガイモを使った焼酎の製作を予定しています。このジャガイモに関して作付けの委託をストリーづくりのために遊休農地でやりたいと考えています。ほかの施策についてはたまたま検討段階ということでご理解いただきたいと思

酒井隆幸 丹波山産の野菜にブランドをということで野菜にタバジシールを貼っています。貼ることでのような効果があったか、伺います。

振興課長 タバジの関係ではシールのほかに「のぼり」も数本つくり道の駅周辺に立てています。これは私の感想ですが、タバジのシールを貼ることでよってブランド化が図れて、高級感が出て購買意欲が出ているのではないかと私は感じています。

酒井隆幸 しなびた野菜とかにも貼ってあるのですが、ブランドをもっと上げるのであれば野菜の品質を上げなければなりません。直売所に納品していただく段階で規格をつくり、出しているだけ野菜を精査する必要があると思うがどうか。

振興課長 方法を考えて、品質の至らないもの、見栄えのよくないものについてはシールを貼らない等の工夫を進めていきたくて考えています。

副村長 これができるのは道の駅の職員や村の職員ではなかなかできないのでできれば生産者に協力願って、出してくる方がみずから直接評価できる、この人に評価してもらうという体制にしたいと難し。そのような体制が組めればと考えています。

守屋富重 中山間支払協定の件で農業者個人に補助金を配布せず農業者が集まって電柵の下刈りをして食事を出していたが、今はそれもなくなると出ない。今後農業者が維持していかないればならないが、役場ではどう考えているか伺います。

振興課長 中山間直接支払交付金は、個人の支払いをせず、団体に草刈り等を行って、団体の支上、食料費等への多大なる支出は余り好ましくありません。この制度本来の姿は所有者、耕作者が管理するのが当初のルールではなかるるかと思

です。

守屋富重 中山間直接支払いの補助金は今のくらい残っているか伺います。

振興課長 16万円ほど残っていると確認しております。

守屋富重 我々も努力して急耕地で耕作しているが、道路の脇も草だらけで本当に困っています。村でも農業に対して努力してもらいたいと思

村長 農業、大事な分野です。で、ぜひ農業者の皆さんに頑張っていたただけに我々は応援したいというふう

酒井隆幸 交流センターの修繕費ですが、交流センターが、老朽化に伴い、修繕する場所が多くなっています。廊下の壁紙は、お客さんを受け入れるの

に見えがものすごく悪いのが早急に対応していただきたい。

振興課長 壁紙等早く出来るところは早く、優先順位を決め修繕を進めたいと考えています。

守屋保志 集会所等の改修費は、村長の施政方針にあったトイレの改修との説明だがこの予算化した詳しい経緯、説明を求めま

す。

振興課長 村長から見積もりを取って、新年度に向け予算化するよう指示を受けました。
守屋保志 公民館も同じか伺います。

教育次長 公民館も同様です。
守屋保志 村長と語る会が出てきている事案なのか伺います。
村長 何人かの村民からも言われ、私もトイレの必要性というのは非常に感じておりました。車で移動するとき、女性、特に高齢者の方、子供さん連れの方はトイレが必要だと考え、最終的に余って使っていないような予算があったら、集めてでも実施するよう命じいたしました。

酒井隆幸 クラインガルテン運営協議会は今回、開催されたか伺います。
振興課長 30年度は一度も開催はしていません。
酒井隆幸 クラインガルテンの運営に当たって、この協議会はどのような役割なのか伺います。

振興課長 協議会自体を、できることなら解散させて、新しい運営方法を確立された方がいいのではないかと、協議会メンバーからの指摘がありました。協議会についてはすぐ解散ということもできませんので、これを解散していいものかどうか、どういった方向で解散すれば次のステップへ進めるか等、今、検討している最中です。
酒井隆幸 協議会自体が機能していないようなら解散し、新しい進め方、運営の方法をしっかりと考えてほしい。

嶋崎義人 ヤナ設置は今年もやる予定でしょうか。
振興課長 漁協さんと相談し、31年度は2カ所ヤナを設置する予定です。
以上です。

嶋崎義人 この事業は何か補助金がついているのでしょうか。
振興課長 補助金はないと思います。単費です。

嶋崎義人 問題は、アユが下る時期と、台風が来る時期がいつもぶつかって何度も流されているのですが、どう考えているのか伺います。

振興課長 本年度についても保之瀬は立てて2週間たないうちに台風に見舞われました。道の駅前に設置したもののについては、時期が早く建設しましたが、少しの釣果がありました。少ない状態でしたが、台風の被害で後半は使えないような状態でした。
嶋崎義人 少なくないお金をかけるわけですので、費用対効果を考えて一考してもらいたいと思います。

水源地ブランドについて

守屋保志 水源地ブランド推進協議会事業費について、30年度の事業内容を説明してください。

振興課長 30年度についてはこの団体を使って、丹波山産の木材を製販、そこからノベルティグッズの制作を行っています。
守屋保志 その、制作したノベルティグッズは売る予定か伺います。

振興課長 今のところ、販売の予定はありません。イベント等でいらっしゃっていただいたお客さんにノベルティとしての使用を考えています。
酒井隆幸 関連質問です。31年度の事業予定を伺います。
振興課長 ノベルティではなくてもう少ししっかりした、何か製品にしろようなものを相談させてもらっているところです。
守屋保志 除雪対策費の事業費

165万の詳細の説明を求めます。
振興課長 165万円の内訳ですが、融雪代に110万円、ホールローダー修繕費に50万円計上しています。

守屋保志 融雪剤を袋のまま置かないで、その容器を、ペットボトルにして傷まないような努力をするよう指摘しましたが、状況は置いてあるところもあつたが、袋のままそこに積み上げているような状態でした。また、融雪剤の回収したものを来年度使う予定なのか伺います。

振興課長 袋のものについては未使用、そのまま撤去、保管し、来年に使用します。ペットボトル入りのものについては、近所に利用のぐあい聞き、もし、これが「使い勝手がいいよ」ということになれば、増やす予定です。
守屋保志 この融雪剤に関しては、ペットボトルに入れば、季節が過ぎても傷まない、次の年にも使えます。この取り組みで奥多摩はコストダウンが出来たそうなので、ぜひそういった方向に進んでいっていただきたいと思えます。

振興課長 あまった融雪剤はペットボトルのまま保管してみたいと思います。ふたが固まる等、余り無駄が出ないよう、気をつけていきたいと思えます。
酒井隆幸 30年度、空き家対策のパンフレットは作っていないのか伺います。

振興課長 30年度は未作成です。31年度予算計上はしましたが、村に空き家バンクがあつているのか方向性を含め検討中です。以上です。
酒井隆幸 今後空き家対策は村としてどのような対策を打っていくのかお答えください。

振興課長 空き家バンクで集めた情報を持っていますので、使える住宅については交渉を進めて賃貸の方向にもつていきたい。使えない住宅で貸すという希望があるところは、借りませんとはっきり言う、そういう方法方針が確立していかなければならないと思えます。

酒井隆幸 空き家対策措置法ということで、空き家の税率、固定資産税を通常の住宅と同じようにする制度を取り入れているか伺います。

振興課長 丹波山村ではまだ取り入れていません。
酒井隆幸 そういう法律を積極的に取り入れていただいて、使える空き家の確保をどんどん進めていっていただきたい。
質疑応答 消防費

守屋保志 上組地区の防火水路、後消防のほうの整備の事業の予算がこの中に含まれているか伺います。
総務課長 消防施設費の事業費で修繕費が入っています。

守屋保志 防火のことですから、スピードをもって処理をしていただきたいと思えます。
総務課長 防火のことなので、なるべく速いスピードで実施していきたいと考えています。

教育ビジョン予算計上

守屋保志 教育ビジョン、講師、委員の謝金が25万2千円とありますが、この金額が教育ビジョン策定の全ての予算ですか。
教育次長 教育ビジョン関連の予算につきましては、講師、委員謝金、25万2千円、それから会議費やお茶代ということで1万円の計26万2千円です。
守屋保志 教育ビジョンは3月

中に策定計画、構想などを進めるのか伺います。
教育次長 3月中には検討委員会のメンバーの人選を考えています。

守屋保志 現段階での策定計画や構想でどのようにこの予算を算出したのか、経緯の説明を求めます。

教育次長 委員の報酬については、教育委員会の私的諮問機関的な意味合いもあるのですが、他の報酬とのバランスも考えて、費用のほう算出してあります。コーディネーターをしていただく教授の報酬に関しては、学識経験者であることや、遠くから来ていただくということで、宿泊費なども含めて算定をしております。

守屋保志 総合計画や、総合戦略の見直しの予算計上、地方創生費委託料として400万円という説明がありました。教育ビジョン策定の予算、この25万という予算で、本当に賄えるのか伺います。
教育次長 提示は少なくとも、内容の自身は大きな内容で、今、夢を語れるようなものをつくるべく、いく方針であります。そのため、この予算の範囲内で作成できると考えております。

酒井隆幸 スクールバス各費のスクールバス運転192万円ですが、この予算、昨年比去年75万円増加ですが、理由を伺います。
教育次長 昨年は賃金で予算のほう計上していたのですが、途中で委託という形に変えたことによる増です。内訳としましては、月16万円で12カ月ということになります。192万の予算になっております。
酒井隆幸 月16万円ということでしたが、月わりにすると夏休

み、冬休みも同じなのか伺います。

教育次長 月額で、日数少なくても統一ということで算出しております。

酒井隆幸 16万円の根拠と年間何日ぐらいスクールバスが運行している予定で、一日当たりどのくらいの金額を考えて月16万円と考えたのか伺います。

教育次長 また、スクールバス運転管理の賃金なのですが、スクールバスの一日3往復、それと給食の中学校への運搬、それから、塩山へのパンを取りに行く費用が含まれた算定です。

海外交流事業とは

守屋保志 海外交流事業費の予算算出について、詳細な説明を求めます。

教育次長 海外ホームステイ事業の予算の積算ということなのですが、まず、報償費としまして、ホームステイ中の移動の運転者がいるということで、8日分、6万円を計上しております。それから食糧費としまして、ホームステイ中の食事代ということで、5名ということで10万6千円を計上しております。委託料としまして、旅行会社への委託料で成田空港からホームステイ先までの航空機、5名分ということで300万円を計上しております。内容としましては、国内の航空会社の航空運賃、それから空港税、燃油サーチャージ、それから帰国前日のアメリカでのホテルの宿泊代、それから空港からホームステイ先までの送迎代と、あと、海外旅行の損害保険です。それから使用料として、ホームステイ先の宿泊代としまして、5名で4泊、12万8千円、以上を合計で329万4

千円の計上をしております。

あと、委託料に関しては、現時点では見積もり1社しかしていませんので、数社、旅行会社の方に見積もりをあたってみて費用を抑えていきたいと考えています。

守屋保志 外国へのホームステイというのは、例があると思うのですが、実際行われていたものについての調査、研究とかはなされていますか。

教育次長 小菅村で海外に行っていますので確認をしております。

守屋保志 子供たちが安全で、送り出す父兄が安心して送り出せるような対策をとっていただきたいと思えます。

酒井隆幸 山村留学のお子さんたちがふえることによつて、学校運営の難しさとか、不登校とか、運営へ行けない子供たち、多くいると思えます。

昨年比べて臨床心理士さんの回数とスクールカウンセラーさんの回数、どのような推移があるか伺います。

教育次長 臨床心理士の、今年度なのですが、運営会議と個別支援会議を同日開催で2回です。また子育て教育支援ということで、子供や保護者などの相談事業を10回程度実施しております。スクールカウンセラーは19日間です。31年度はホットサポート、臨床心理士は同程度というところで予算を計上しております。

スクールのカウンセラーは県の事業で決定は県で行います。同程度と想定しております。

酒井隆幸 学校とかに行けず家の中に引きこもっている子たちのために、居場所づくりというのも教育委員会を通してやっていただけならと思うのですが。

教育次長 ただいまの質問については、ちょっと私の判断ではお答えすることができないので、本日教育長に答弁のほうしてもらいたいと思えます。

守屋保志 小中一貫校及び併設型の校舎について何か進展はあったか。

教育次長 教育ビジョン策定の中に含めて進めていく予定でいます。

守屋保志 小中一貫校の検討について、予算はこの予算書には計上されていないのか。

教育次長 小中一貫校については、先ほど述べたように、教育ビジョンの中に含めて入れるということ、小中一貫校としての予算計上のほうはしております。

守屋保志 今後の進め方を伺います。

教育次長 教育ビジョンの中に含めて、進めていきます。

守屋保志 進めていく中で、この予算ではできないとなれば必ず補正になるが、教育長と次長、相談連携しているのか伺います。

教育次長 教育委員会、教育長と相談しながら、もし、予算的に足りないという事態になりましたらまた補正をお願いする可能性がありますので、よろしくお願ひします。

酒井隆幸 山村留学事業、事業費のパンフレットは昨年作成せずに、ことしこの予算を計上しているが、31年度パンフレット作成するのか伺います。

教育次長 30年度は作成をしませんでした。31年度新たに一度パンフレットを作成します。

■平成31年度丹波山村国民健康保険特別会計予算

平成31年度丹波山村国民健康

保険特別会計事業勘定の予算は、歳入歳出、それぞれ1億2,334万5千円とするものです。直診勘定の予算は、歳入歳出それぞれ8,650万6千円とするものです。

質疑応答

酒井隆幸 歳入の国民保険税についてですが、増額の理由を伺います。

住民生活課長 30年度から国民健康保険は、山梨県内が県内一つに統一されました。その関係で保険税が、いまは各市町村、全てばらばらになっております。それを、数年のうちに、県統一の保険料になります。

丹波山村の保険税については、県内で一番安いので、県内統一の平均の保険税になるというところは、増額になると考えられます。

また医療費も増えているので、今の税率よりも減るということはないと思えます。県と相談しながら徐々に徐々に見直ししていきたいと思っております。

以上です。

酒井隆幸 直診勘定の繰入金が昨年より合計で240万円ふえています。

この繰入金が増える要因としては、診療収入が下がったことにより繰入金が増加したのか伺います。

住民生活課長 診療収入も前年度に比べて506万4千円減での計上となっております。歳出を見直しているが不足が出るので、一般会計繰入金で対応しております。

酒井隆幸 診療収入がふえたのにもかかわらず、なぜ医療材料費が増額しているのか伺います。

住民生活課長 丹波山村の診療所が身近な診療機関ということ、他の医療機関に比べている方でも、紹介状等で薬を丹波の診療所で出せるように薬を充実していきたいと思増額としました。

■平成31年度丹波山村簡易水道事業特別会計予算

平成31年度の丹波山村簡易水道事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ2億8,400万円とするものです。

質疑応答

守屋保志 小峰山の浄水場、保之瀬の水道施設工事内容の説明をしてください。

住民生活課長 小峰山浄水場改修事業は平成30年、31年の2カ年入替することによって、今まで塩素だけではとれない細菌やプランクトン等の水に溶けない個体粒子や鉄、マンガンなどが除去されるようになります。それにより今まで以上に安全な水を供給することになります。

保之瀬水道設備移設事業については、これは保之瀬のぬくいど地内、天平沢災害関連緊急砂防事業により、本来あった水道施設が置くことができないというところで、滝口から仮に水道管を伸ばしているところ、その本格的な復旧になります。

守屋保志 その他の施工監理業務、施工監理等の説明を求めます。

住民生活課長 委託料は設計業者、施工監理を委託している費用です。

報酬水道業務に詳しい方をお願いして役場の立場に立って設計等、また、工事の内容等の助

言っていたため、の予算計上です。

■平成31年度丹波山村教育奨励資金特別会計予算

平成31年度の丹波山村教育奨励資金特別会計予算は、歳入歳出それぞれ180万4千円とするものです。
質疑応答ありません。

■平成31年度丹波山村水源の里保健休養施設事業特別会計予算

平成31年度の丹波山村水源の里保健休養施設事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ2,626万円とするものです。

質疑応答

守屋保志 ヤマメとかニジマスは死んでしまつて商品にならないものが出来ていますが、確率として何%ぐらいか伺います。
振興課長 通常時ですと、主にマスですが1日に1匹、2匹が死んでいく程度です。また台風により酸素不足によって死んでしまうのですが、従業員の努力でほとんど死なない状況です。

守屋保志 死んだ魚を加工し、商品として提供するのかそのまま廃棄するのか伺います。
振興課長 朝の時点でもう既に死んでいくものについては廃棄、ちよつと動きが悪くて水面を漂っているような状態のものは薫製等の商品に加工しています。

守屋保志 死んだ魚も廃棄ではなく何らかの処理をして廃棄処分をしないよう検討できないか伺います。
振興課長 従業員と検討はさせていただきます。

酒井隆幸 約1,200万円の赤字となっておりますが、これを埋めるためにどのような対策をとる予定か伺います。

振興課長 釣りに場については原材料の入荷の工夫等、無駄のない原材料の工夫で、そば処については利用、運営をふまえて検討中です。ローラー滑り台は、インターネット載せる等工夫を図って宣伝をしています。
酒井隆幸 そば処は31年度事業の実施するの伺います。
振興課長 今のところ、募集は協力隊で募集していますが、応募はない状況です。

酒井隆幸 近くに民間がやっているそば処もありますので、そば屋以外の活用も視野に入れて、今後、検討していただきたいと思っています。

とる予定か伺います。

■平成31年度丹波山村特定環境保全公共下水道事業特別会計予算

平成31年度の丹波山村特定環境保全公共下水道事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ1億5,680万4千円とするものです。
質疑応答はありません。

■平成31年度丹波山村有線テレビ放送施設事業特別会計予算

平成31年度の丹波山村有線テレビ放送施設事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ543万3千円とするものです。

質疑応答

酒井隆幸 インターネット事業費が0円なのは保証が30年度で終わったのか伺います。
教育次長 5年間の補償期間が終わりましたので、31年度には予算計上しておりません。

酒井隆幸 インターネット事業費が0円なのは保証が30年度で終わったのか伺います。
教育次長 5年間の補償期間が終わりましたので、31年度には予算計上しておりません。

酒井隆幸 インターネット事業費が0円なのは保証が30年度で終わったのか伺います。
教育次長 5年間の補償期間が終わりましたので、31年度には予算計上しておりません。

酒井隆幸 インターネット事業費が0円なのは保証が30年度で終わったのか伺います。
教育次長 5年間の補償期間が終わりましたので、31年度には予算計上しておりません。

酒井隆幸 インターネット事業費が0円なのは保証が30年度で終わったのか伺います。
教育次長 5年間の補償期間が終わりましたので、31年度には予算計上しておりません。

酒井隆幸 インターネット事業費が0円なのは保証が30年度で終わったのか伺います。
教育次長 5年間の補償期間が終わりましたので、31年度には予算計上しておりません。

険特別会計予算は、歳入歳出それぞれ1億4,061万9千円とするものです。
質疑・応答はありません。

■平成31年度丹波山村温泉事業特別会計予算

平成31年度の丹波山村温泉事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ2億5,134万7千円とするものです。

■平成31年度丹波山村介護サービス事業特別会計予算

平成31年度の丹波山村介護サービス事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ41万2千円とするものです。
質疑・応答はありません。

質疑応答

守屋保志 前年度比に比べると2,000万円ほどアップされているんですけども、その根拠を伺います。
温泉観光課長 要因としては、温泉使用料値上げです。主なものは軽食売店収入、29年度の実績ですと1,700万程度ですが、31年度は3,000万円、レストランの売店収入が29年度実績ですと2,400万程度ですが、31年度は4,000万円。要因といたしましては、この3項目がかなり、今年度の事業ベースを見ても伸びる予想として予算計上させていただいております。

守屋保志 売上げの上昇ということですが、精査した結果だということですか。
温泉観光課長 温泉使用料については、入場者数は29年度と30年度、ほぼ変わらない見込みです。収入も29年度実績で2,100万円、平成30年度は12月末時点で既に2,600万円ですので、値上げをした要因が大きいと思われませんが、軽食売店収入につきましても、前年度行つた施設の改修に伴うメニューの導入等が大きな要因ではないかと予想しています。

守屋保志 値上げを600円から900円にしたということが

一番の要因ということで、値上げをした判断、これが成功だと受けとめてよろしいでしょうか。
温泉観光課長 今現在、まだ値上げをしてまだ1年に満たないわけですが、今現在の状況を見る限りでは、値上げは収入の増につながっていると思つています。

酒井隆幸 今現在、まだ値上げをしてまだ1年に満たないわけですが、今現在の状況を見る限りでは、値上げは収入の増につながっていると思つています。

酒井隆幸 今現在、まだ値上げをしてまだ1年に満たないわけですが、今現在の状況を見る限りでは、値上げは収入の増につながっていると思つています。

平成31年度の丹波山村介護サービス事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ41万2千円とするものです。
質疑・応答はありません。

■平成31年度丹波山村後期高齢者医療特別会計予算

平成31年度の丹波山村後期高齢者医療特別会計予算は、歳入歳出それぞれ1,218万7千円とするものです。

■平成31年度丹波山村後期高齢者医療特別会計予算

平成31年度の丹波山村後期高齢者医療特別会計予算は、歳入歳出それぞれ1,218万7千円とするものです。

質疑応答

守屋富重 528万円の広域連合に払う財源はどのほうから出ているか、それをよろしくお願ひします。
住民生活課長 特別徴収保険料と普通徴収保険料を合わせたお金が広域連合のほうに納める財源となっております。
守屋富重 年金から天引きの人数を伺います。
住民生活課長 2月末現在で、186名です。

守屋富重 528万円の広域連合に払う財源はどのほうから出ているか、それをよろしくお願ひします。
住民生活課長 特別徴収保険料と普通徴収保険料を合わせたお金が広域連合のほうに納める財源となっております。
守屋富重 年金から天引きの人数を伺います。
住民生活課長 2月末現在で、186名です。

守屋富重 528万円の広域連合に払う財源はどのほうから出ているか、それをよろしくお願ひします。
住民生活課長 特別徴収保険料と普通徴収保険料を合わせたお金が広域連合のほうに納める財源となっております。
守屋富重 年金から天引きの人数を伺います。
住民生活課長 2月末現在で、186名です。

守屋富重 528万円の広域連合に払う財源はどのほうから出ているか、それをよろしくお願ひします。
住民生活課長 特別徴収保険料と普通徴収保険料を合わせたお金が広域連合のほうに納める財源となっております。
守屋富重 年金から天引きの人数を伺います。
住民生活課長 2月末現在で、186名です。

守屋富重 528万円の広域連合に払う財源はどのほうから出ているか、それをよろしくお願ひします。
住民生活課長 特別徴収保険料と普通徴収保険料を合わせたお金が広域連合のほうに納める財源となっております。
守屋富重 年金から天引きの人数を伺います。
住民生活課長 2月末現在で、186名です。

守屋富重 528万円の広域連合に払う財源はどのほうから出ているか、それをよろしくお願ひします。
住民生活課長 特別徴収保険料と普通徴収保険料を合わせたお金が広域連合のほうに納める財源となっております。
守屋富重 年金から天引きの人数を伺います。
住民生活課長 2月末現在で、186名です。

定数8人を6人へ削減する条例です。
提出者 嶋崎義人
賛成者 全議員

賛成討論

守屋保志 議員にとつて最大の権限と責任は議決権の行使にあります。したがって、私たち議員は、村民の声やみずからの調査・研究から到達した結論を村政に反映させることにとどまらず、より適正な判断が下されるための審議方法にも着眼しなければならぬ立場にあります。
しかし、では、何人の議員構成で行うことが妥当なのかという客観的根拠は全くないのが現実です。したがって、もともと現状の議員定数8名を維持しなければ、最終的に村民の付託に応えられないとする根拠も当然ないわけでありませぬ。

確かに、現在の議員定数は8名ですが、人口減少に歯どめがかからず、10年前739人だった人口が現在では559人と、25%減少しております。今までの人口減少と定数削減の関係を振り返ると、定数12から10となった平成11年4月選挙では人口969人、定数10から8となった平成19年4月選挙では人口798人でありました。前回、定数削減が行われた平成19年と比べても、人口は239人減少しております。またG7サミットの人口440人の大川村でも、議員定数を5人へと削減に踏み切りました。

一方で、情報公開制度並びにインターネットの普及等、議員が審議する上で欠かさない最低限必要な情報が瞬時に収集できるようになった昨今の現実では、それを補つて余りあるものではないかと考えます。

議員定数により、現在の議員

議員定数により、現在の議員

議員定数により、現在の議員

議員定数により、現在の議員

議員定数により、現在の議員

議員定数により、現在の議員

事実、一般質問の数も少なく、予算・決算委員会での日程も二、三日で行われております。また、既に議員定数削減を行った自治体から、議員数が減って村民生活に支障を来した、あるいはチャェック機能が低下して行政による無駄遣いが膨らみ、財政状況が悪化したなどという報告を耳にしたことはありません。むしろ結果は逆であります。

こうした現実を直視したとき、定数を削減しても十分村民の付託に応えることは可能であると考えます。また、同時に、丹波山村の村民にとって、最後の相談窓口は県でも国でもなく丹波山村役場であり、多くの村民からの悲痛な要望や声に

対し、ただでさえ他の自治体と比較して多いとは言えない現状の役場職員が対応しなければならぬことも十分承知しているはずであります。

そうした中、我々議員は、今までのままでよいのでしょうか。我々議員は、村民への痛みや現場職員の苦悩を慮れば、まず我々議員が先んじて痛みを受け、さらに切磋琢磨すること、が村民の付託に応える議員としての姿勢であると確信しています。少なくとも村民の痛みや現場職員の現場の苦悩を理解しよう、共有していこうとする心とそれを具現化しようとする態度なしにどうやって村民の皆様と向かい合えるというのでしょうか。

か。どうやって役場職員に意欲的に取り組めと言えますか。

2名の議員削減は議員からしてみれば狭き門となります。しかし、あえてみずからが厳しい選択をすることが今まで以上に村民や現場で働く役場職員と議員との信頼を深めるきっかけになると確信します。

■丹波山村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

議長月額を19万円から21万円に、副議長の月額を15万円から18万3千円に、議員の月額を13万5千円から16万円に改正する条例です。

質疑応答

守屋保志 議員定数が2名削減されることで、現行と削減後の報酬総額の差額について説明を求めます。

総務課長 約150万円の減額になります。

■丹波山村村長、副村長及び教育長の給与等に関する条例

村長の給与月額を50万円から40万円から44万円に、教育長の給与月額を40万円から42万円に改正する条例です。

守屋保志 本条例改正により副村長、教育長の給与が一般職の給与を上回るようになるのか差

額について説明を求めます。

総務課長 現状で一般職の一番高額、高い給料が41万円を切る額です。教育長が42万円なので、上回っております。

守屋保志 基本給ということですよね。例えば管理職手当等、扶養手当とかそういうのを含めるとどうなりますか。

総務課長 職員手当、扶養手当等はかなり変わってくるので、総額から行けば上回ることはあります。

守屋保志 特別職の報酬等、議員報酬の総額を合わせてと、現行との差額の説明を求めます。

総務課長 特別職3名を上上げる増額はおよそ130万円台です。総額は減額になっていきます。

3月 一般質問



守屋保志議員

進行管理以外の事業監理は

守屋保志 進行管理事業以外の要望事項の対応について。進行管理制度の導入により、事務事業の達成度は見違えるほど改善されました。

しかし、進行管理制度の対象外の事業については、いまだに放置されています。具体的には、上組地区防火水路と橋詰橋付近の消防道整備等があります。村

民からの修理依頼はもとより、消防団からは、担当職員を介し、再三の改善要求が提出されたにもかかわらず、なぜ放置されたままなのか伺います。

村長 私は就任当初の平成29年定例会の6番議員の一般質問に対する各課職員の対応に危機感をおぼえ、進行管理制度を導入し、予算化された事業はもとより、村民や議員からの指摘や要望で優先順位や必要性の高い事業を進行管理事業に位置づけ、毎月進捗状況を確認しており、

年度途中においても必要なものは新たに加え、管理をしてきました。

一方、村民や議員の皆様から指摘された、事業や要望事項で進行管理事業に加えても私の指示で対応できるものは迅速に指示してまいりました。このご指摘の、上組地区防火水路の修繕につきましては、梅雨の時期や台風の大雨により、排水管に土砂等が入り、詰まってしまう状況であることから、その都度の修繕を行っており、根本的な解決策を探る必要があります。橋詰橋付近消防道整備等についても同様であり、いずれも予算と施工業者の確保が課題となっております。

しかし、村民の安全・安心を守るための防災施策は、何より最優先させる必要があると認識しており、その都度、修繕を指示しております。しかし、これは対症療法にすぎないため、今後は、現状の防火水路を確保す

るための原因療法を検討していきます。

守屋保志 上組地区防火水路は、平成29年当時、水の取り入れ口の根本的な改善を行い、大雨のたびに起こり得た問題解決を図ったとのことでありました。が、昨年の9月末の台風の影響により使用できない状態が続いております。

また、橋詰橋付近の消防道整備についてですが、この事業も昨年9月末の台風で消防道が決壊をして被害を受けたものと認識を確認したところ、復旧の有無ることから、復旧せずに、コルゲート管のみ撤去を行う趣旨の説明を受けました。

既に6カ月が経過しています。が、いまだに放置されている現状の経緯を、時系列に沿って説明を求めます。

総務課長 上組の件ですが基本的に水利としていろんな条件が

例えば、1分間に1立米以上の水量がなければ等あるので、その辺を考えながら対応していく予定でしたが、それで9月から放置していますが、台風が続き、寒い時期になってしま、業者にはお願いはしているが、現在都合がつかない現状となっております。

橋詰橋付近の復旧ですがコルゲート管を入れて川を渡るようになっていたんですが、河川の許可が必要、また川釣りも始まりますので協議していく予定であります。

守屋保志 河川は県の所管であることから、既に6カ月も放置されている現状に対して、県から何らかの指導があったのかどうか、伺います。

総務課長 県から指導がありましたが、きのう、重機が橋梁の、高尾橋の橋梁の関係で入って、片づけました。

守屋保志 県との信頼関係がと

でも大事であることから、そういう対応の遅れが影響するということはありませんか。

総務課長 影響もあると思いますが、こちらも県の指導があるたびに、事情を説明し一応理解してもらっています。

守屋保志 進捗管理制度の対象にならない事業が、手つかずのまま、申請者及び管理者に対する何の報告もなく放置されていることは、大きな問題であると思います。この現状を、どのように捉えて、今後の対応を、どのように行うのか、村長の見解を求めます。

村長 県から指導や指示があったものをやっていたいなかったというのはこちらのミスです。

要綱や、課への要望などが私に上がってこない部分もありますので、今後は、そういうものが上がってくるようにすると同時に、村民や議員の皆様が、お気づきになった場合は、ぜひ我々に言っていたらければ、何らかの対処はできるといふふうに考えています。

第2源泉活用の検討を

守屋保志 2点目、第2源泉、蒔ボイラーの維持管理費と費用対効果について伺います。

平成30年3月定例会における一般質問での答弁では、第2源泉の維持管理費は年間に214万円を毎年支出しているとのことでありました。また、蒔ボイラー導入後、平成28年度の費用対効果の実績は、平成26年度と比較し、A重油の消費量が40%、量にして4万5,150リットル、金額換算で年間338万6千円が削減されたとのことでした。

一方で、蒔ボイラーに使用する

蒔ボイラーは、年間で3000立米、300万円を支出していて、燃料費のみで計算すると、ほぼ同額のことでしたが、蒔ボイラーの維持管理費や蒔製造に携わる人件費は、合計で500万円をもち出している旨の答弁でありました。

また、平成30年度におけるA重油の予算執行に当たっては、325万円の補正予算を計上し、12月定例会及び1月臨時議会にて審議を行い、議決されたことは記憶の新しいところでありました。

第2源泉及び蒔ボイラーの二つの公共施設において、具体的な費用対効果の詳細はもろろんのこと、蒔ボイラーについては、平成28年度実績と同様に、平成29年度実績の数値及び金額を示し、詳細かつ丁寧な説明を求めます。

村長 まず、第2源泉については、電気のメーターが交流センターと同メーターとなっているので、両方の施設としてですが、平成29年度は維持管理費として電気料を190万862円。月平均15万8,405円支出しております。平成30年度は、これまで月平均15万5,619円の支出のため、年間推移187万円程度と試算しております。そのため、維持費として、おおむね月平均15万5千円程度と考えております。

蒔ボイラーですが、平成29年度の蒔代は343万5千円、電気料は48万円、人件費が44万8千円で、合計463万3千円となっております。

一方、重油の使用料ですが、重油のみで稼働していた平成26年度は、年間約11万リットルでした。蒔ボイラー稼働していた平成29年度は、リニユール工

事期間の3カ月を平均使用料でならした場合、6万3千リットルの使用実績で、平成30年度はリニユール工事により新設された日替わり湯が沸かし湯のため、年間7万3千リットルの使用料を見込んでおります。蒔ボイラーは、いまだに熱源を安定的に供給できるシステムに至っておらず、不安定な稼働による点検、修繕がたびたび発生し、その対応のための人件費の増加にもつながっております。このため、費用対効果という観点では、蒔ボイラー導入当初の効果が上がっているとは言いがたい状況です。

守屋保志 第2源泉の答弁の電気料は、その電気料のみで細かく計算しますと、電気料は190万円に、平成28年度実績と同様に源泉の保守管理、この本日の答弁だと27万円、水質管理費が7万円ありました。これをプラスすると224万円になりますから、昨年の答弁と10万円ふえています。

それと、蒔ボイラーは大体500万円ぐらいの持ち出しというところは、まあ、数十万円の誤差ですね。重油代については、さまざま要因が違ってきていますから何とも言えないというような答弁ですね。

ただいまの答弁でもわかりませんが、第2源泉及び蒔ボイラーにおいても、高額な維持管理費が年間を通し発生することになるわけですから、さらさら第2源泉に至っては、今後、ポンプの交換を初め、配管などのメンテナンスも当然のこと必要とされます。

蒔ボイラーにおいても同様のことが予想されますし、昨年は管の凍結で温泉営業に多大な影響を与えると同時に、莫大な修

繕費の負担もありました。また、熱交換器棟までの100メートル以上になる配管では、放熱による湯温の低下や、寒さで冷え切った配管の水が循環し、お湯になるまでには相当な時間とエネルギーを要することだと思えます。

皆さんも、ご家庭のボイラーで経験はされていると思います。寒い朝、お湯の蛇口を回してもなかなかお湯が出てこないこと。配管延長が100メートル以上になると、個人の家とは比べ物にはなりません。

このような現状をご理解し、お答えをいただきたいのですが、昨年、3月定例会での村長答弁では、村内外のさまざまな分野の方の意見を集約し、方針転換を含めて、最適な活用方法を考えていく旨のものでありました。

あれから一年がたち、さまざまな意見も当然集約し、取りまとめたことと思えますので、今後の方針について、説明を求めます。

村長 非常に我々も温泉について、効率化とか効果性とか、これからの展望、そういったものが、日々お話ししているというのが現状です。非常に大きな数字で、村の財政に對しましても負担になっていきます。これからは、ますますいろんな研究が必要だということに思っております。

また、計画どおりに事業を進めるのが適当かどうか、妥当性とか有効性とか効率性とか、そういったものを管理する、これは非常に自治体運営の中では大事ななことだということに考えています。

守屋保志 両事業で年間一千万円にもなる金額を負担し続けることに疑問を感じるのは、私

だけでしようか。54億円超のぼる県民負担を残して、幕引きに向かった県の廃棄物最終処分場と同じ道を歩まぬよう、方針転換を望みますが、村長の見解を求めます。

村長 これから、さまざまな、将来性とか効果性、効率性、そういうものを検討し、方針転換もあり得るといふ答えに、可能性もあります。その辺も、十分胸にたたき込みながら検討していきたいというふうに思っています。

教育ビジョン策定はいつ頃か

守屋保志 3点目、教育ビジョンの策定について伺います。

丹波山村教育ビジョンの進捗状況について説明を求めます。**教育長** 丹波山村教育ビジョンの策定につきましては、現在、各種団体や有識者を交えた人選を行っているところです。今後は、村民や関係者、有識者による検討委員会を発足させることを早急にし、平成31年度に丹波山村教育ビジョンの策定を行います。

守屋保志 進捗管理制度になって半年がたつていたので理解できそうです。このような状況になったてんまつと、その理由を明確に答えてください。**教育長** まず、お約束した時点で、教育ビジョンというものが一体どういうものなのかという案が、自分たちはありませんでしたので、いろんなところで研究しつつ、先生方や県に行ったり、また、国でアドバイスをいただいたところ、子供、大人

全ての村民が、どういふふうな教育を受けて、どういふふうな生き生きと暮らせるかというこ

とがビジョンではないかというアドバイスをいただきました。その中で、まず、どういう方がこの委員会に入っていたか、このか人選を始めたところから。

守屋保志 進捗の状況が感じられないので、私自身、ちょっと調べさせてください。ただ、平定、検討委員会を開催し、議論を重ね、平成22年3月末に教育ビジョンのあり方についての答申を受け、市教育委員会で5回の検討会議を経て、同年11月に策定を終えております。それと並行して、幹事会、作業部会、内部検討会議など、合計で20回の検討会とアンケート調査、関係機関への説明会及び学校現場からの意見聴取、さらにはパブリックコメントの実施を行い、約一年半の歳月をかけ、でき上がったものが、総数70ページにも及びます。

このような事例を踏まえてお尋ねしますが、教育長、丹波山村の教育ビジョンは、平成31年度中に策定を終えると断言をできますか。

教育長 今、浦安市のことを例にとり、このように回数を重ねなくても、私たち、本当に小さな村の中で夢が語れて、一人ひとり、皆さんがお客様ではなくて、自分たちの村のことで、今、考えていただければ、私、今回お示した8回という回数で教育ビジョンができると考えます。

守屋保志 ぜひ、今言った言葉を忘れていただく、31年度中に策定をしていただきたいと思います。村長が掲げる四つの柱の公

約の一つは、どこにも負けない教育環境を創設し、人材育成を図ることです。だからこそ、その信念を貫くためにも、確固たる決意が必要ではないでしょうか。

村長 就任以来、村づくり、地域づくりは人づくりだというふうな考えでおります。そのための教育ビジョンというのは、一連の骨格になるものと考えます。

守屋保志 まとめに、三つの質問に対して、確認をさせていただきたいと思えます。

まず、1点目、進捗管理事業以外の要望事項の対応について、今後は進捗管理の対応の対象外事業であっても、進捗管理事業と同様に位置づけ、申請者及び村長、副村長への報告を義務づける。

次に2点目、第2源泉、苜ボイラーの維持管理費と費用対効果については、方針転換については、それを取りまく木の駅プロジェクトなどの関係機関への配慮はもろん必要であります。喫緊の課題であることは言うまでもありませんので、早急の決断を望みます。

次に、3点目、教育ビジョンの策定については、村長の公約に直結する極めて大事な取り組みであります。ご自身が先頭に立ち、指導、監督をすることにも、みずから折衝や交渉、営業マンとなって、大所高所から牽引していくという持論を、必ず果たしていただけること。

以上3点について確認をいただきたいと思えます。

村長 重要なことと考えております。努力するということ約束させていただきますと思えます。

1月臨時会、3月定例会に提案された議案等

平成31年1月臨時会

- 平成30年度丹波山村一般会計補正予算第6回について（村長提出議案第1号）
- 平成30年度丹波山村有線テレビ放送施設事業特別会計補正予算第2回について（村長提出議案第2号）
- 平成30年度丹波山村温泉事業特別会計補正予算第5回について（村長提出議案第3号）

平成31年3月定例会

- 丹波山村公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について（村長提出議案第4号）
- 丹波山村温泉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について（村長提出議案第5号）
- 丹波山村農林産物直売所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について（村長提出議案第6号）
- 大月市外2村言語障害等通級指導教室設置協議会規約の一部変更について（村長提出議案第7号）
- 丹波山村特定環境保全公共下水道丹波山浄化センターの建設工事委託に関する協定の締結について（村長提出議案第8号）
- 丹波山村過疎地域自立促進計画の一部変更について（村長提出議案第9号）
- 平成30年度丹波山村一般会計補正予算第7回について（村長提出議案第10号）
- 平成30年度丹波山村国民健康保険特別会計補正予算第2回について（村長提出議案第11号）
- 平成30年度丹波山村簡易水道事業特別会計補正予算第3回について（村長提出議案第12号）
- 平成30年度丹波山村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算第2回について（村長提出議案第13号）
- 平成30年度丹波山村介護保険特別会計補正予算第3回について（村長提出議案第14号）
- 平成30年度丹波山村後期高齢者医療特別会計補正予算第2回について（村長提出議案第15号）
- 平成31年度丹波山村一般会計予算について（村長提出議案第16号）
- 平成31年度丹波山村国民健康保険特別会計予算について（村長提出議案第17号）
- 平成31年度丹波山村簡易水道事業特別会計予算について（村長提出議案第18号）
- 平成31年度丹波山村教育奨励資金特別会計予算について（村長提出議案第19号）
- 平成31年度丹波山村水源の里保健休養施設事業特別会計予算について（村長提出議案第20号）
- 平成31年度丹波山村特定環境保全公共下水道事業特別会計予算について（村長提出議案第21号）
- 平成31年度丹波山村有線テレビ放送施設事業特別会計予算について（村長提出議案第22号）
- 平成31年度丹波山村介護保険特別会計予算について（村長提出議案第23号）
- 平成31年度丹波山村温泉事業特別会計予算について（村長提出議案第24号）
- 平成31年度丹波山村介護サービス事業特別会計予算について（村長提出議案第25号）
- 平成31年度丹波山村後期高齢者医療特別会計予算について（村長提出議案第26号）
- 丹波山村議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について（議員発議第1号）
- 丹波山村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について（村長提出議案第27号）
- 丹波山村村長、副村長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について（村長提出議案第28号）